

会議・打合せ等記録

市長	副市長	教育長	教育次長	鹿沼場	沼長	栗場	野長	係長	担当

報告日：平成27年7月10日

名称	平成27年度 第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会								
日時	平成27年7月9日（木） 午前10時00分～11時35分								
場所	学校給食共同調理場 2階 会議室								
出席者	高橋教育長、田野井教育次長、仲田場長、大貫場長、渡辺係長、鈴木(希)主査、鈴木(彩)主査、小出栄養教諭、久保主査 学校給食共同調理場運営協議会委員 12名（別紙のとおり）								
内容及び結果等	(1) 協議事項 ア 副委員長選出 早乙女卓史委員を副委員長に選出 (2) 報告事項 ア 運営協議会について イ 学校給食の概要について ウ 学校給食における食育の取り組みについて エ 学校給食費の滞納対策について オ 学校給食における安全・安心の取り組みについて (3) その他 ア 運営協議会の開催予定について 質疑等は別紙のとおり								
配布資料	平成27年度第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会資料								
次回予定	平成28年2月								
記録者	渡辺給食係長								
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)									
公開・非公開の別	公開			・ 非公開			(公開の場合) 傍聴人数		0人

報告事項以降の質疑及び回答

報告事項

ア 運営協議会について

質疑なし

イ 学校給食の概要について

(教育長) 総合計画及び教育ビジョンの見直しについて補足説明

(小松委員長) 単独実施校の調理員数だが、食数に対する配置が厳しいところがあるが、どのような基準か？

⇒ 石川小192食で調理員2名と池ノ森小28食で2名というような配置ではあるが、石川小は正職員で一日勤務体制、池ノ森小は正職員1名が一日勤務と一般非常勤職員1名が短時間勤務というように、同じ2名でも内容が違う。市配置基準にて配置はしているが、食物アレルギー食への対応なども考慮し、今後は、基準の見直しも検討していく。

ウ 学校給食における食育の取り組みについて

(大原委員) 小児生活習慣病予防検診事後指導について、昨年度の結果は？

⇒ 小学校の血圧について、「軽度の高血圧」男子0.4%、女子0.9%。脂質異常については、「かなりの異常」男子0.2%、女子0.9%、「異常がある」男子1.8%、女子0.9%。中学校の血圧について、「高血圧」男子0.2%、女子0.2%、「軽度の高血圧」男子0.6%、女子3.1%。脂質異常については、「かなりの異常」男子0.4%、女子0.6%、「異常がある」男子1.3%、女子3.1%でした。

エ 学校給食費の滞納対策について

質疑なし

オ 学校給食における安全・安心の取り組みについて

(大原委員) 給食用食品の定期衛生検査について、サルモネラとカンピロバクターが全て陰性というのは信じがたい。保健所でもスーパー等の鶏肉を検査しているが、4割程度は陽性である。サルモネラとカンピロバクターについては、出たから危険という訳ではない。その後の調理、加熱の度合いが重要という認識を持ってほしい。また、検査実施時期が2~3月に集中しているの、年間を通して実施したほうが良いのでは？

⇒ 精肉については、年2回の入札により納入業者を決めている。契約後、その業者に自主検査をさせ陰性となったものを納品させている。以前、サルモネラが出たと

H27年7月9日 第1回学校給食共同調理場運営協議会

きには、その業者取引先を変更させ、再度検査を実施し陰性となったものを納品させている。

また、精肉の取り扱いは、その物が汚染されていることを想定して、調理室内の材料及び人の動線に注意している。また、生で携わった者の身支度は、釜での調理にうつる際に着替えるなど、衛生面には最も気をつけている。これは鹿沼調理場のみならず、単独校など全ての調理場において実施している。

検査時期については、今年度9月に再度業者を決定する入札があるので、依頼をしたい。

(吉田委員) 安全安心の観点から、重要なのは異物混入と食物アレルギーの対応であると思う。アレルギーに関しては、保護者への詳細献立の送付などは良いことである。児童生徒に対して平等な対応としては、やはり「代替食」が一番と考える。鹿沼市では現在、どの品目について対応しているのか？また、今後その品目数を増やしていけるのか方向性を伺いたい。

⇒ 市全体において「そば」は一切使わないこととしている。卵、牛乳・乳製品については、代替食のほか除去食の対応をしている。単独校や拠点校調理場では、可能なかぎり他の品目（甲殻類や魚）の除去や鮭からサバに替えるなどの対応をしている。また、材料には最初からアレルゲンの無いものを選んで、学校全体で食べないという献立も考えている。

鹿沼調理場においては、アレルギーに対する関心が保護者や児童でも高まってきている昨今、アレルギーを持つ子どもの数も増え、また、アレルゲンもさまざまであったり、摂取量や体調により発症する場合もあつたりと多種多様で、鹿沼市に限らず国レベルで学校給食における対応の見直しを行っている状況のため、国の動向を注視し、今後鹿沼市においてどこまで対応できるか検討していく。一人ひとりに安全でおいしい給食を提供できるよう努める。

(大原委員) アレルギー対応の一つに「消防への情報提供」をしているとのことだが、どういった効果を狙ってのことか？また、今年の搬送件数は？

⇒ アレルギーの児童生徒について、どこの学校にいてどういうアレルギーを持っているのか、また、かかりつけ医や服薬の状況などを事前に把握してもらい、万が一の際に迅速な対応をとれるようにするためである。

平成26年度2件（北犬飼中・上南摩小）どちらも喫食後にすぐ運動をしており、運動誘発性によりアレルギー症状が出ることもあるようである。

その他

ア 運営協議会の開催予定について

質疑なし